

令和5年度 埼玉県英語指導方法改善事業

本庄市立金屋小学校の取組

本日のアウトライン

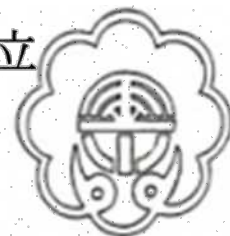
- ①学校概要説明
- ②クラスの実態
- ③**Small Talk**
- ④**デジタル教科書の活用**
- ⑤**金屋小授業スタイルの確立**
- ⑥成果
- ⑦課題

本年度の取り組み

本庄市立金屋小学校



明治7年（1874年）設立
149年目



*令和6年（2024年）150周年

令和5年度（1月1日現在）

児童数 224名

学級数 11学級

教職員 34名



5年生の实践（学級の实態）



男子12名 女子11名 計23名
交流 男子1名 女子1名

- 男女ともに仲良く、明るく元気
- 休み時間などにALTとの会話を
楽しむ子がいる
- ▲英語を非常に苦手を感じている
児童もいる



Small talkについて

Small Talk

○小中連携でSmall Talkの充実を図る

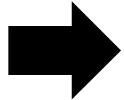
研究を行う前のSmall Talkのイメージ

⇒児童同士があるテーマに沿って英語で会話を行う

「厳しい・・・」

<小学校外国語活動・外国語研修ガイドブックによると>

「Small Talkとは、高学年新教材で設定されている活動である。2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることである。また、5年生は指導者の話を聞くことを中心に、6年生はペアで伝え合うことを中心に行う。」



「とりあえず、まとまった話を聞かせるところから始めよう」

Small Talk

時 間	◆目標・○活動
1 分	◆世界の国々の言い方に慣れる。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：教師が行きたい国 ○Story ○Let's play ポインティングゲーム
2 分	◆世界の国でできることを伝える言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：その国でできること ○Let's watch ペルーで行くことができる場所 ○Let's listen 観光案内 ○Let's chant "You can visit Roma." ○Let's play 国旗カードのかるた取り
3 分	◆世界の国でできることを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：国当てクイズ ○Let's chant "You can visit Roma." ○Let's play 国旗カードのかるた取り ○Let's try 国当てクイズ ○Let's write 自分ができることを書く

4 分	◆行きたい国とその理由をたずねたり答えたりす。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：行きたい国とその理由？ ○Let's watch ニックがイタリアに行きたい理由 ○Let's listen 行きたい国とその理由 ○Let's chant "Where do you want to go?" ○Let's play 行きたい国とその理由をたずね合う
5 分	◆行きたい国とその理由をたずねたり答えたりす。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：おすすめの国はどこ？ ○Let's chant "Where do you want to go?" ○Let's play 行きたい国とその理由をたずね合う ○Let's try 行きたい国インタビュー ○Let's write 行きたい国
6 分	◆世界の国々について知り、行きたい国の魅力を。 <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk 話題：世界の様々な国々 ○Let's chant "You can visit Roma." "Where do you want to go?" ○Let's listen and read 将太の生きたい国 ○You can do it 行きたい国紹介 (準備)

Small Talk

< Small Talkの実施の変化 >

①その単元で習う英語表現を使ったT-Tの会話を児童に聞かせる

②T-Tの中に少しずつT-Sの会話を入れていく（児童に質問する）

▲一問一答でただのPracticeをしているようなT-Sになってしまっていた。

▲児童の興味があまり高められていないので「伝えたい」と思わせることができなかった。

③Small Talkでも、**目的**、**場面**、**状況**を意識して展開した

例：「ALTが冬休みに海外旅行を計画している**場面**」

「どの国に行こうか迷っている**状況**」

「ALTにおすすめの国を伝える**目的**」



デジタル教科書の活用について

デジタル教科書の活用

【単元 1 時間目】単元の内容把握に活用

- 単元のテーマに沿った英会話を自分のペースで聞く
 - ・会話のスピードを調整しながら聞く
 - ・字幕を見ながら聞く
 - ・繰り返し聞く
- ⇒ 最後はPicture Cardの並べ替え活動を行い全体で内容を確認

【単元 2 ・ 4 時間目】新出表現との出会いに活用

- 新出表現を含んだ聞き取り問題に挑戦する
 - ・学級全体で聞き、解答する
- ※聞き取り間違いやすいポイントなどを明確にする
- ・自分のペースで各自聞き、解答する

【単元 3 ・ 5 時間目】言語活動の補助教材として活用

- 言語活動を行いながら、必要に応じて新出表現等の言い方、発音等を自分のペースで確認、学習する





金屋小授業スタイルの確立

○デジタル教科書を活用した授業スタイル（基本的な授業の流れ）を共有

< 毎時間行うもの >
Greeting
English Shower
Small Talk
Today's Goal
Reflection

English shower time

4

英語を覚えておんなぎてしゃべろう♪

	日本語の意味	英語の表現
01	いってきます。	I'm going.
02	ただいま。	I'm home.
03	わすれちゃった!	I forgot it!
04	わすれないでね。	Don't forget.
05	もう終わった?	Did you finish?
06	まだだよ。	Not yet.
07	うそでしょ!?	No way!
08	本当に?	Oh really?
09	本気(マジ)で!	Seriously.
40	ハイタッチしよう!	Give me five!

成果

- Small Talkによる対話している場面や対話のイメージを持つことができた
- 毎時間、Small Talkを行うことによって児童の聞く力が向上した
- Small Talkを他の教員と一緒に考えることで英語に対する意識が向上した
- 授業公開を複数回行うことにより、金屋小授業スタイルが浸透した
- デジタル教材の活用で個別に繰り返し聞いたり、自分に合った速度にしたりすることで理解ができた

課題・今後の方向性

- ▲ 単元や英語表現によっては、Small Talkの目的、場面、状況が上手く設定できなかった
- ▲ Small Talkの内容が難しいことがあった
- ▲ デジタル教科書の活用法の工夫があまりできなかった
- ▲ Small Talkと同様に言語活動でも目的、場面、状況を意識していく